

## 三重県身体障害者総合福祉センターの取組

### 平成21年度の取組

#### < 指定障害者支援施設 >

障がいのある方々が社会復帰するために、障がいの自己管理や合併症の予防のため、以下の具体的な取り組みを行った。

- ・ 日中は体をたてにして過ごし、規則正しい生活を支援した。
- ・ 転倒の予防に対する啓蒙や再発防止に努めた。
- ・ 歩行や車椅子自走など、移動能力の向上や体力向上のための支援を行った。
- ・ 再発作や生活習慣病予防のための生活指導や食事指導を行った。
- ・ 本年度は新型インフルエンザの報告があったので、集団発生を予防するために毎日検温や状態観察を行い、異常の早期発見に努めた。また、季節性インフルエンザに対しては予防接種を行い、感染予防のための手洗いやうがい、マスクの着用など生活指導を行った。
- ・ 公衆衛生学院の実習として、ブラッシング指導を受け、口腔衛生に対する啓蒙を行った。

#### < 身体障害者総合福祉センターA型 >

障がいのある方々が、各種リハビリテーションやスポーツを通じての健康増進並びに自立と社会参加の促進を支援するため、以下の具体的な取り組みを行った。

- ・ 通院リハビリテーション、通所リハビリテーション、居宅介護支援、訪問リハビリテーションを実施した。
- ・ 「みえテクノエイドセンター」の指定を受け、福祉用具の普及促進、開発支援、自助具の普及促進を行った。
- ・ 県内施設への地域巡回リハビリテーション指導を実施した。
- ・ 三重県障がい者スポーツ大会（陸上・フライングディスク・卓球・ボウリング競技）および「09ふれあいスポレク祭」をそれぞれ開催し合計2,338人の参加を得た。
- ・ 前年度の上記の大会により選考された選手を第9回全国障害者スポーツ大会（新潟大会・平成21年10月）に三重県選手団として79名を派遣した。
- ・ 地域などで障がい者スポーツ活動を支援する障害者スポーツ指導員（財団法人日本障害者スポーツ協会認定資格）を25名養成した。
- ・ 当センター運動施設を使用し障がい者スポーツ教室（競技スポーツ・レクスポーツ）《2回/週》と市町などに出向く地域出張スポーツ教室を開催・支援した。
- ・ 市町、各種関係団体などからの依頼により、障害者スポーツ指導員を派遣した。

## 平成22年度の取組目標

### < 指定障害者支援施設 >

- ・ 障がいのある方々が社会復帰するために、障がいの自己管理ができるように、また、生活習慣病や合併症の予防ができるように支援する
- ・ スポーツ活動を通して、障がいのある方々の健康増進並びに自立と社会参加の促進を支援する
- ・ 引き続き、規則正しい生活を支援していく。
- ・ 移動能力向上や体力向上のための支援を行う。
- ・ 生活習慣病予防のために生活指導や食事指導を行っていく。
- ・ 感染症予防や口腔衛生に対する啓蒙を行っていく。

### < 身体障害者センター A 型 >

- ・ 医学的リハビリテーション(在宅障がい者に対する脳血管疾患等リハビリテーション、運動器リハビリテーション)の実施
- ・ 在宅の要介護者、要支援者に対する居宅介護支援・訪問リハビリテーション・通所リハビリテーション)の実施
- ・ 地域巡回リハビリテーション指導の実施
- ・ 「みえテクノエイドセンター」としての福祉用具製品化支援を実施
- ・ 福祉用具・住宅改修研修の開催
- ・ 県内外の障がい者スポーツ大会イベントなどの情報収集と提供
- ・ 県障がい者スポーツ大会・ふれあいスポレク祭の開催
- ・ 全国障害者スポーツ大会への三重県選手団派遣及びそれに伴う選手強化
- ・ 障害者スポーツ指導員の養成
- ・ 各種障害者スポーツ教室及び講習会の開催
- ・ 市町などへの出張スポーツ教室の開催並びに障害者スポーツ指導員の派遣